事例No.	2475
公表年度	R5
団体の属性	その他
団体名	ちやのきエンデューロ実行委員会

事例区分	地域活性化

タグ	・関係人口 ・観光 ・地域運営組織

事例種類	地域振興

事例内容・タイトル

”あそび”で地域おこし～何もない山は、宝の山～

出典

令和2年度優良事例表彰一覧

総務大臣賞

ちやのきエンデューロ実行委員会

“あそび”で地域おこし
～何もない山は、宝の山～



大会スタッフ及び参加者集合写真。地域住民が何もない、と思っていた山に魅力を感じる大勢の若者がいる。

●事例の概要

佐賀市富士町苣木（ちやのき）地区では高齢化、過疎化が著しく、山間部に位置する同地区において、地域の草刈り等の区役（くやく）と呼ばれる集落維持活動は地域住民の大きな負担となっていた。

そのような中、自由にマウンテンバイクを走らせることができるコースを求めていた地区外の若者は、区役に参加する代わりに山間部にコースを作る場を提供してもらった。地域住民と交流を深めていきながら、山間部に作成したコースを利用し「ちやのきエンデューロ」という大会を開催。同大会の運営は区役に参加した若者と、地域住民が協働して運営しており、全国からライダーが集まっている。「苣木地区には何もない」と思っていた地域住民にとっても、「苣木地区には宝の山がある」という認識と自信に繋がるとともに、近隣の温泉街での前夜祭開催などによる宿泊客数の増加にも貢献しており、地域の活性化に寄与している。



高齢者が多い苣木地区の住民にとって若者の支援は大きな助けとなっており、今まで数日かかっていた区役が半日程度で終わるようになった。

●評価のポイント

「ちやのきエンデューロ実行委員会」は地域の人と、外からやってくる関係人口がつながる、優れた「関係案内所」を有している。佐賀県佐賀市富士町の苣木（ちやのき）地区の人口は現在 34 人。高齢化と人口減少が進む中、「区役」が大きな負担となっていた。一方で、登山者などに危険と見なされがちなマウンテンバイクで遊べる場所を九州内に探していた若者たちが、マウンテンバイクのコースとして、地域内の山林内を気兼ねなく遊べる場とする代わりに、「マウンテンバイク友の会」のメンバーを中心とした 20 代、30 代の若者が、年 3 回の「区役」に自発的に参加することになった。これまで3日かかっていた作業が半日で終わるようになるとともに、双方の心理的な距離が縮まり、安心感が芽生え、地域の人と若者との信頼関係が築かれていったところは大きい。言うなれば、お互いの「悩み」と「ないもの」と「弱さ」を交換し、増補を行った好例といえる。今では SNS で募集をかけると、メンバーのみならず、その情報を周辺でキャッチした人までも「区役」に参加するようになったということが、この関係性とプロジェクトの楽しさの伝播を象徴している。

「ちやのきエンデューロ」はマウンテンバイクによるレースの大会だが、一方向のイベントではまったくない。スポーツによる地域づくりやまちおこしのイベントが、参加者を迎え入れる地域側の過度な負担や疲弊のみでマイナスに着地することが多く見受けられる中で、この双方のフラットな共助の関係性が築き上げられている点を強く評価したい。苣木地区の住民は、「読めない地名と言われる苣木がテレビなどのメディアでも ” ちやのき ” と音になって取り上げられ、活気づいた。私たちも何気なく地域にあるもののよさに気づく視点がもらえた。誇りと元気をいただき、感謝している」と話し、「区役」に参加する若者は「苣木に関わることの楽しさは、地域の方が何より僕たちを受け入れてくれている、迎え入れてくれているということが一番うれしい」と返す。気持ちの通じた信頼の関係性がこちらにもよく伝わってきた。苣木地区は、地域を盛り上げる重要な３つのキーワードである「関係人口」「関係案内所」「関係案内人」の揃ったところと言えよう。今後の苣木地区の大きな目標のひとつが農業の活性化。主産業の米だけでなく、ジャンボピーナッツやいせいも、茶などの特産物の収穫体験や援農、販売、獣害対策など、地域の人と若者の協働がこの分野でも始まっていくことにも期待したい。苣木を訪れた若者が古湯に宿泊するなど、エリアリノベーションの萌芽を感じさせる、ゆるやかな地域のコミュニティが生まれている。



区役に労働力を提供する代わりに、遊び場を求めていた若者が、地域の山林を自由に使わせてもらい、マウンテンバイクのコースを作成した。



地域と若者の間に信頼関係が生まれ、地域からせっかくコースがあるのだから大会を開いてみてはどうか、という提案が出てきた。



若者と地域住民が一体となり、地区の公民館に大会事務局を設置し、運営している。

DATA 佐賀県 佐賀市（さがし）

団体名▶ちやのきエンデューロ実行委員会
所在地▶〒 840-0501 佐賀県佐賀市富士町大字古湯 3132 番地 2
連絡先▶ TEL：(0952) 58-3038
E-mail：info@cleat-bicycle.com

【交通のご案内】
自動車▶長崎自動車道　佐賀大和 IC より約 15 分



● 国勢調査人口　（単位：人）

市町村名	昭和 35 年	昭和 55 年	平成 12 年	平成 17 年	平成 22 年	平成 27 年
佐賀市（旧）富士町	10,150	6,382	5,116	4,774	4,359	3,979

●人口増減率　（単位：%）

市町村名	H27/S35	H27/S55	H27/H12	H27/H17	H27/H22
佐賀市（旧）富士町	-60.8	-37.7	-22.2	-16.7	-8.7

● 高齢者・若年者比率（H27 年）　（単位：%）

市町村名	高齢者比率	若年者比率
佐賀市（旧）富士町	40.8	6.7

20-09-343　令和2年度過疎地域自立活性化優良事例表彰パンフレット.indd　13-14　2020/11/11　20:33:30